

システム統合による画像検査情報の一元管理・運用最適化・コスト削減を実現

**導入システム**

- DICOM 画像管理システム **Nazca**
- RIS システム **Nazca RIS**
- 診療情報統合システム **STELLAR**
- ドキュメント作成&管理システム **Sophia Report**
- 部門システム **ASTRO Launcher**



画像診断センター長 鷲田康雄先生

**導入経緯**  
サーバ統合によるシームレスな運用を目指して

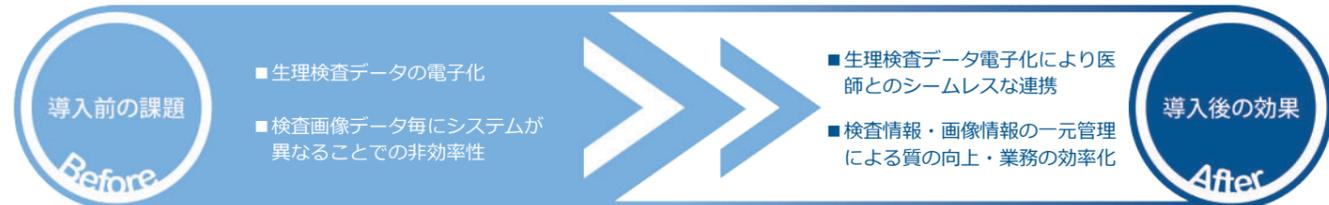
これまで当院は、部門毎に異なる画像管理システムを利用していました。また、生理検査では紙媒体での運用を行っていて、臨床医がエコー・心電図の検査結果をすぐに確認できないことや、保管管理などが課題となっていました。このことから、従来より生理検査のシステム検討を行ってきましたが、PACS 更新のタイミングで、各種画像検査情報を統合管理できるシステムの検討を行うことになりました。

アストロステージ社には、詳細説明・デモンストレーション・導入施設への視察調整など、丁寧に対応いただいたと感じています。各種検査データ (DICOM・MFER・その他検査データ) を一元的に管理できること、且つコストパフォーマンスの点など、当院の要件を満たしていただき選定に至りました。

各種モダリティのみならず、上位システムとの接続では、細かい要望に柔軟に対応していただいたと思っています。STELLAR では、複数部門・複数施設 (グループ診療所) の画像・検査値等を一連で管理・参照でき、操作性、ビューアの展開・読み込み等、機能性が優れていたと評価しています。



生理検査所見センター



福岡青洲会病院：システム導入時期 / May 2018



福岡青洲会病院は、平成 5 年 12 月に福岡市東部に隣接する粕屋町に開設されました。地域のニーズに応えるため、徐々に診療科の整備・医療設備の拡充・病棟編成の改編などを実施してまいりました。特に救急医療に力を注いでおり、福岡県の災害拠点病院の指定も受けており、地域の大規模災害や事故等に備える態勢整備に努めております。また、開放型病院としてかかりつけ医の先生方に御登録頂き、地域の医療機関や介護施設との連携に努め、多くのご紹介を頂いております。

職員においては、青洲会の理念である「一視同仁・親切丁寧」をモットーに、最新の医療知識・技術の習得に努めており、青洲会グループで取り入れている「Fish 哲学」に沿った考えと、「チーム STEPPS」の手法を用いて、多職種協働の質の高いチーム医療を推進し、「患者中心の医療」と「やり甲斐のある職場」の実現のため、日々努力を重ねております。今後も「地域で求められていることは何か」を念頭に置きつつ、安心安全で良質な医療・介護を提供し、地域の医療機関・介護施設等との連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築に貢献出来るよう職員一同邁進してまいります。

所在地：福岡県糟屋郡粕屋町長者原西 4-11-8

病床数：213 床

診療科：総合内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・糖尿病内科・腎臓内科・神経内科・人工透析内科・外科・脳神経外科・整形外科・心血管外科・消化器外科・乳癌外科・肛門外科  
形成外科・胸部外科・アレルギー科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科  
病理診断科・臨床検査科・救急科・麻酔科

**今後の期待・要望**

アストロステージ社には誠意の伝わる対応をしていただいていると実感しています。今後もこの関係を維持していき、ブラッシュアップの継続・業務効率化・質の向上とデータの二次的活用を積極的に行い、業務改善を行っていきたく考えています。

**今後の方針**

パフォーマンス・操作性のさらなる向上を期待しています。また県の連携システムや地域の医療機関とシームレスな連携が図れる環境の提供を期待しています。

**システム構成図**

